※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）化学演習Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次後期
使用教科書	化学（数研出版）						
副教材等	ビーライン化学（第一学習社）　セミナー化学　（第一学習社） スクエア最新図説化学（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに学習した内容がどれだけ定着しているかを確認しながら､授業や演習課題に取り組んでいこう。各自でノートを用意し、問題集を解き進めていこう。計画を立て、苦手分野を重点的に解き進めていく。計算を得意とする人は、暗記すべき内容を中心に復習していこう。３年次では演習を重ね、入試で実力を発揮できるように進めていく。

２　学習の到達目標

・科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身につけている。
・自然の事物・現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
・自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身につけている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・知識の習得や知識の概念的な理解の習得ができているか。 ・分野をまたいだ複合問題への応用力があるか。	・習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 ・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養うことができているか。	・知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		物質の状態 物質の変化 無機物質 有機化合物 高分子化合物	a:基本問題を、時間内に回答する ことができる。 b:問題を正しく読み取り、回答する。 c:弱点を理解し、粘り強く取り組むことができる。	定期考査 小テスト	定期考査	授業プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度